

第3回国道137号新たな御坂トンネル整備検討会議事概要

1. 日時

令和5年3月22日（水）10:00～11:45

2. 場所

山梨県庁 防災新館409号会議室

3. 委員

- ◎砂金伸治 東京都立大学都市環境学部教授
- 大島洋志 日本応用地質学会名誉会員
- 真下英人 日本建設機械施工協会施工技術総合研究所所長
- 秋山久 山梨県県土整備部技監
- 角田和仁 笛吹市建設部部長
- 流石国男 富士河口湖町都市整備課課長
- ◎は座長

4. 参加者

事務局
山梨県 県土整備部 道路整備課

第3回国道137号新たな御坂トンネル整備検討会議事概要

5. 議事

- (1) 断層破碎帯・突発湧水
- (2) 水源水量の不足
- (3) 坑口部の地耐力不足、切羽、地表面沈下対策
- (4) 自然由来重金属への対応
- (5) 今後の予定

6. 議事概要

- ・断層破碎帯・突発湧水への対応については、水抜きボーリングの先行について検討する。
- ・水源水量の不足については、水質・水量の適用性も踏まえ、代替水源候補地の調査に加えて、新たな御坂トンネルの坑内湧水の活用についても検討する。
- ・坑口部の地耐力不足については、笛吹市側坑口は、水平ボーリング調査の実施と設計への反映を検討する。また、両坑口において、斜面の安定性について検討し、今まで入手した地質情報等に基づく図面の更新や情報の追加等を行う。
- ・自然由来重金属への対応については、今後の地質調査等の結果に基づき、ズリ等の処理方法について検討を進める。